



新しい Dr の紹介

地域包括ケア病床の開設

整形外科について

- ・ 外来
- ・ リハビリ

訪問リハビリ

訪問看護

眼瞼下垂手術のお知らせ

新病院長あいさつ

2024年4月1日付で病院長に就任しました。

この場を借りてご挨拶させていただきます。

越谷誠和病院は、1984年（昭和58年）の開設以来40年間、地域に密着して皆様に信頼していただける病院となるべく努めて参りました。この間、埼玉県東部地区の救急医療に貢献し、1990年（平成2年）に上尾中央医科グループの一員となり、地域のニーズに応えるべく2000年（平成12年）に増床して、現在では一般病棟108床、障害者病棟40床、療養病棟47床の施設となっております。また救急車の受け入れは年間2,000件を超えるまでになりました。

開設以来30年以上が経過したため、2018年（平成30年）より順次、管理棟、新病棟の建設を進め、2021年（令和3年）4月の病院エントランスと駐車場整備で工事は完了し、施設は一新されました。新型コロナウイルス流行下であったため、十分なお披露目はできませんでしたが、新病院は国道4号線に面しており、駐車場に国道から直接入ることができるようになっております。新病棟は病室のみならず廊下も広く、ゆったりとした治療・療養環境を提供できるようになりました。外来も拡張して診療ブースを倍以上増設し、受診される方により快適で機能的なレイ

アウトとなっております。新病棟建設に合わせてMRI、マルチスライスCTなどの最新医療機器を導入しております。同時に電子カルテも導入してDXに対応した医療の質向上に職員一丸となって努めております。

今後は、これまで越谷誠和病院が推進して来ましたが、獨協医科大学埼玉医療センター及び越谷市立病院と連携しての救急医療における地域への貢献を継続して参ります。また未病対策・病気の早期発見のために人間ドック・検診部門の強化を図り、高齢者の皆様が安心して地域で暮らせるように在宅看護・在宅医療のみならず、老人保健施設、老人ホームなどとの連携をより深めて参ります。地域の皆様が心地よく診療を受けられる環境を整備し、より地域に密着した病院を目指して参ります。よろしくお願いいたします。

院長 松村 輔二



Introducing a new doctor 新しい Dr の紹介



高橋 智美先生



4月より獨協医科大学埼玉医療センター呼吸器・アレルギー内科から派遣されました、後期レジデント3年目の高橋智美です。まだまだ若輩者で至らない点が多々あると思いますが、診療の戦力になれるよう日々努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



嶋田 智樹先生



越谷誠和病院に1年間お世話になります。嶋田 智樹と申します。若輩者ですが、何卒よろしくお願いいたします。



鈴木 章仁先生



整形外科3年目の鈴木章仁と申します。1年目は大学病院、2年目は別の市中病院で研修を行いました。今回は2カ所目の学外研修になります。去年は1人での研修でしたが、今年は下川先生と2人での研修なので、互いに協力し研鑽し合い、診療業務の一助にもなれればと考えております。未熟な所も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、御指導御鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



下川 健太先生



獨協医科大学埼玉医療センターからきました下川健太と申します。1年間当院整形外科にて勤務予定です。研修医期間を含め、大学病院以外での長期勤務は今回が初ですが、救急対応や手術をよりこなせるよう、また1日も早く当院に貢献できるよう努めてまいります。不慣れな点もあり、ご迷惑をおかけすることも多いかもしれませんが、何卒よろしくお願いいたします。



加藤 大敢先生



初めまして、4月から越谷誠和病院の形成外科として着任しました加藤大敢です。3月までは文京区にある日本医科大学付属病院に勤務していましたが、出身は埼玉県であり、どこか懐かしさを感じています。まだまだ未熟ではありますが、若さを活かして何事も積極的に仕事に取り組んで行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



堀地 遼先生



獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科からの出向で4月より半年間お世話になります内科の堀地遼です。獨協医科大学埼玉医療センターでは脳神経内科として働いておりますので神経疾患をメインに診ております。出向中は様々な内科疾患を診ることになると思いますので、内科医として成長できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



「地域包括ケア病床」を 開設いたしました！

急性期治療後の患者様や在宅・施設療養中の方々が在宅復帰に向けた効率的な医療・看護・リハビリを行うための病床です。現在B棟3階6病棟の一部を地域包括ケア病床として運用し、今後徐々に増床していく予定となっています。急性期の治療を終えられた後、「在宅へ帰る準備をしたい」「もう少しリハビリがしたい」という要求にお答えしつつ、患者様やご家族様に寄り添い、支援できる病床を目指しています。

また、当院は2021年に訪問看護部を立ち上げ、退院後も切れ目のない看護の提供に努めています。患者様、ご家族様が在宅で安心して生活ができるよう支援していきたいと思っています。

これからの地域医療・介護の一端を担い、入院患者様の在宅復帰機能を強化するため、また地域や関連する施設との連携を大切にし、役割を果たせるよう努めてまいります。

- ・ 栄養指導
- ・ 服薬指導
- ・ 歯科

PT・OT・ST
リハビリ
365日

退院に
向けての
話し合い

介護保険の
調整

入院期間は最長60日

当院B棟3階

地域包括ケア病床

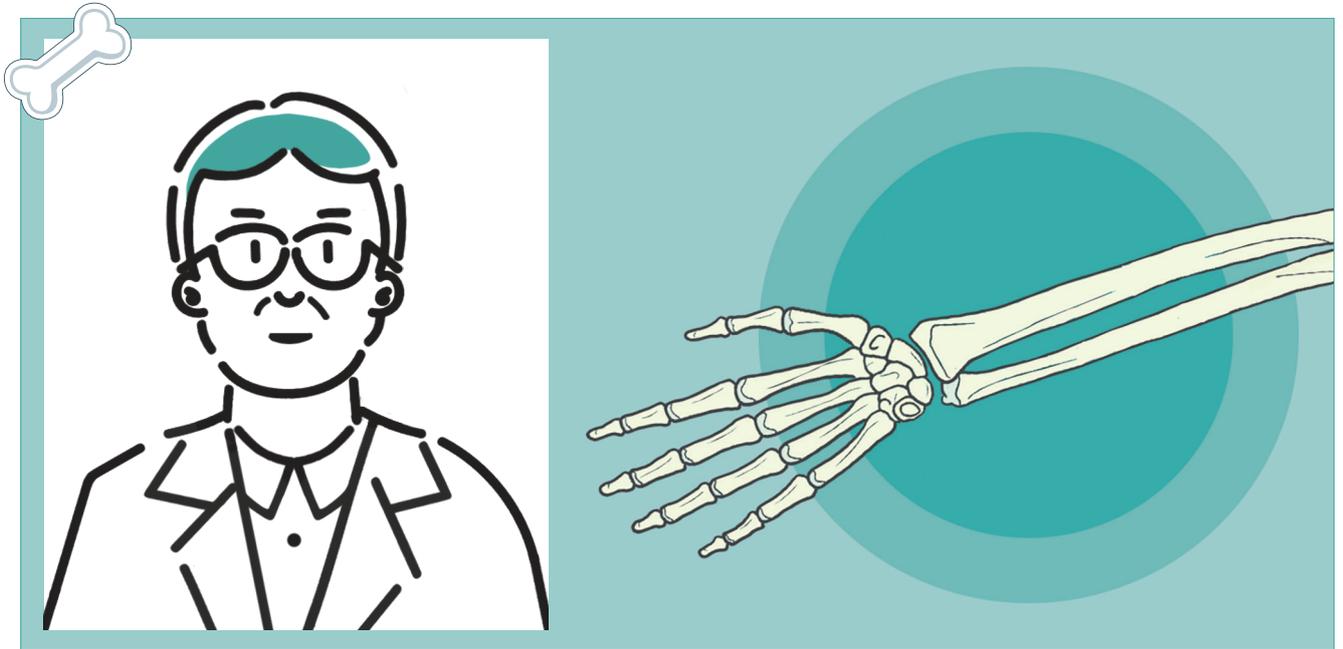


あなたらしい在宅復帰をサポートいたします！





整形外科 外来について



イラスト：木村 和正 Dr

今年の夏はパリ五輪が開催され、選手達の活躍に刺激されてチョコッと体を動かしたくなった人も多いのではないのでしょうか。

しかし、腰・肩・膝などの節々(ふしぶし)の心配を抱えている人もいます。痛みの増さない範囲でストレッチから始めて、体を動かす習慣が身につくと、気分もイイ感じになりそうです。現代の高齢化社会においては健康寿命が話題になります。

いつまでも健康に保ちながらに老いる事を私も含めて多くの人が望まれています。

近年、**筋肉は体を動かして活動性維持や転倒予防のためにあるもの**だけでなく、**ホルモン様物質を分泌して内臓や脳に作用するとされ、アンチエイジングを司る代表選手の一つに位置づけられている**ようです。体を動かす習慣を通じて筋肉を維持したいものです。

全国的に医療人材不足や基幹病院の患者集中などのため、まずは一旦かかりつけ医を受診、そこから基幹病院に紹介・受診のすることで、**多くの患者さんに必要な医療を提供できるような体制**が推奨されています。

そのため当院においても**手・腕の「手外科・上肢の外科センター」**や**せぼねの「脊椎専門医」**などの受診の前にまずはお近くの整形外科クリニックを受診してから、紹介状を持参されることをおすすめしています。

紹介状を持参された患者さんの診療を優先的に開始するため、待ち時間の短縮が期待されます。更に「手外科・上肢外科センター」は、かかりつけ医院・クリニックにおいて初診予約が可能で、その予約をされた方の場合、最優先に診察がおこなわれます。

「手外科・上肢外科センター」受診の際には、かかりつけ医に初診予約を依頼されるとよいです。是非ご相談ください。

当然四肢骨折・ケガも含めた多くの患者さんは、従来通り紹介状や予約がなくても受診が可能ですのでいつでもご相談ください。

もしも体を動かして「ころんだ」、「ぶつけた」「ひねった」などケガをしてしまった場合、早めに整形外科に相談することをおすすめします。

大した痛みでないため受診が遅れて、骨折の発見が遅れる場合も見受けられます。

当院の「手外科・上肢外科センター」は、専門医が手・腕のケガに対して積極的な治療をすすめていますので、ご相談ください。

脊椎外科医の退職に伴い昨年から一時診療を中止していたせぼねの「脊椎専門外来」は、4月から新たに脊椎外科専門医が診療・再開しています。成長に伴い筋・骨格が日々変化する小児を診療できる希少な小児整形外科専門医も診療しており、ご心配な点をお気軽にご相談ください。



リハビリについて



手・腕のケガにおいて、「useful hand(使える手)」を目標に、当院リハビリテーション科作業療法士による「ハンドセラピー」を提供しております。患者さん一人一人のケガによる日常生活動作の制限に対して、患者さんの悩みを共有し、「ハンドセラピー」を提供しております。また、より良い「ハンドセラピー」を提供するために、「手外科・上肢外科センター、手外科専門医」と日々の患者さんの様子を情報交換や勉強会を実施しております。

＼ 整形外科のリハビリについて ／

関節可動域練習の様子



主に股関節・膝関節・足関節を中心としてリハビリテーションを実施しております。

今年度からは脊椎専門外来の診療再開に伴い、腰部脊柱管狭窄症や脊椎圧迫骨折などの脊椎疾患の患者様に対してのリハビリテーションも実施しています。

専門的な知識・技術を生かし、日常生活動作獲得に向けて1人1人の患者様の状態や症状に合わせたリハビリテーションを月曜日～日曜日、祝日を含め365日実施しております。

カンファレンスの様子



当院では整形外科チームとして活動しており、チーム内でのミーティングや医師・看護師など他部門（他部署）とのカンファレンスなどを通して、患者さんの状況と治療方針を話し合い問題点解決に努め、術後翌日よりリハビリテーションを開始いたします。病気やけがにより日常生活を送ることに不自由を感じる方を主な対象として、個々の運動機能や日常生活における動作能力の回復を図ることを目的としております。

歩行練習の様子



入院中は術後翌日より日常生活動作獲得に向けたリハビリを開始し、退院後の生活指導も含めて1人1人の患者様の状態や症状に合わせた治療を月曜日～日曜日、祝日を含め365日実施しております。退院後も継続したストレッチや筋力訓練を実施していただくことにより、2次性骨折の予防・再発防止につながります。

訪問リハビリ

当院の職員が地域の皆様の自宅を訪問し、専門職の視点から身体機能や環境を考慮して、本人・家族が少しでも生活しやすい状況となるよう支援を行います

こんなお悩み 訪問リハビリにご相談ください！

- ✓ だんだん家事ができなくなってきた...
- ✓ 足の力がなくなってきた...
- ✓ 買い物ぐらい自分で行きたい...
- ✓ 歩行器？手すり？どれがいいの？
- ✓ 言葉がはっきりしない...
- ✓ 飲み込むときにおせるようになった...
- ✓ 電車やバスを使いたいけど使えない...



各資格「福祉住環境コーディネーター」「呼吸器療法認定士」「専門理学療法士」などを持った病院勤務のスタッフがお伺いします。訪問看護との連携が可能で、言語聴覚士も在籍しております。

TEL：048-967-2215

訪問看護

病気や障がいがあっても住み慣れた地域やご家庭で療養生活を送ることができるよう、看護師がご自宅等に訪問し看護ケアを行います



当院では、かかりつけの患者様を対象にした訪問看護サービスを提供しています。看護師がご自宅に伺い、状態の観察や処置、認知症ケアや服薬管理等を行います。病気だけをみるのではなく、ご自宅で暮らしていくための生活にも重点をおき、ご利用者様・ご家族のサポートも行っております。

- ✓ 退院後の生活に不安がある
- ✓ 内服薬の管理ができない
- ✓ 家族だけで介護や医療ケアができるのか
- ✓ 高齢の一人暮らしだけど大丈夫なのか



不安や困り事がありましたら院内スタッフまでお気軽にご相談ください。

眼瞼下垂 手術開始のお知らせ

当院の形成外科にて眼瞼下垂の手術を開始いたしました。
ご希望の方がいらっしゃいましたらご利用いただければ幸いです。



Before

手術時間

片側 15 分程度
※日帰り手術の場合

手術費用

1 割負担：約 10,000 円
2 割負担：約 20,000 円
3 割負担：約 30,000 円



After

こんな症状
がでたら

- 眉毛が上がっている
- 眉毛の下が窪んでいる
- おでこにしわ
- まぶたが下がっている

アクセス・お問い合わせ



医療法人社団 協友会 **越谷誠和病院**

〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町4-25-5

TEL: **048-966-2711**

<http://www.seiwa-amg.com>

Mail: info@seiwa-amg.com